

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2022年1月 20日

アンケート回収率 22/23

事業所名: なでしこ

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋が5つと運動場もあり、十分に確保できている。	・2ヶ所に分かれてから快適な様子。 (はい20 どちらともいえない0 いいえ0 わからない2)	現状の維持向上とより有効な活用に努める
	2 職員の適切な配置	パートを含め全職員10人(日中常時6人以上)で対応している。	(はい11 どちらともいえない2 いいえ0 わからない9)	職員の数や資格等を家族へ知らせる
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1階建てで中庭があり移動や行動がしやすい構造になっている。	・活動している姿を見たことが無いので。 ・忙しい中連絡ファイルのやり取り感謝している。 (はい18 どちらともいえない2 いいえ0 わからない)	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	部屋数も多く、自由時間などは友達とそれぞれの部屋で過ごせる。	(はい18 どちらともいえない2 いいえ0 わからない2)	夕方に使った遊具等は消毒を行う。部屋の換気はこまめに実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝の日課の確認や遅出の職員との引継ぎ時に提案があればその都度検討する。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	県市からの研修案内等は全員に周知し、希望者に参加してもらっている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6カ月以内に家族に連絡、調整し来所してもらっている。要望や利用者の成長を奉公し、モニタリングや計画作成を実施している。	(はい20 どちらともいえない1 いいえ0 わからない)	今後も月1回の状況報告を行うとともに、特筆することなどは随時家族に報告をおこなう。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団それぞれの療育目標や留意点を上げて支援している。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	コミュニケーション能力や集中力、社会性など各利用者に寄り添った内容で療育を行っている。	(はい17 どちらともいえない3 いいえ0 わからない2)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画を元に月一回の職員会議(ケース会議)で振り返っている。	(はい18 どちらともいえない1 いいえ0 わからない3)	月1回家族への状況報告の際目標に対しての状況も知らせる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議で行事や個々の支援内容と方法を確認検討している。	・この頃画像を送ってもらっており、プログラムを工夫しているように感じる。 (はい15どちらともいえない2 いいえ0 わからない5)	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	特に長期休暇時には行事的な制作や外出・ドライブを入れ非日常を体験できる配慮をしている。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日ごとに制作・運動・音楽など変化を取り入れている。		当日の利用者の個性などを配慮し、内容を検討することも取り入れる。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の日課と午後から出勤する職員の出勤にあわせ引継ぎ事項等の確認を行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用者の家への送り終了後、事業日誌を記入し特記などを元に共有化している。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々その日のうちに記を記入し、特記事項については事業日誌に転記して全員で確認している。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月以内に連絡し、家族となでしこに於いて報告と聞き取りを実施している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児発管か現場の主任が出席し報告・情報収集を行ってくる。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	ラインやメールを使い子ども園などへ報告している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供		(はい4 どちらともいえない0いいえ1 わからない17)
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明し、月々支援内容の報告も行なっている。 (はい20どちらともいえない2いいえ0 わからない0)	療育中の活動の様子を各家族へ写真をラインで送付継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時を含め6か月ごとのモニタリングで家族来所を求めて十分な説明を行っている。 (はい20 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1)	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニング研修受講を予定 (はい7どちらともいえない1 いいえ5わからない9)	ペアレントトレーニング研修受講を予定
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	ラインや電話を使いながら変化のある時は両方からの確認連絡を実施している。 ・写真がとてもありがたい。 (はい20 どちらともいえない2 いいえ0 わからない0)	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	上記同様、ラインや電話をケース担当が窓口になり基本担当している。 (はい19どちらともいえない3 いいえ0 わからない0)	電話にて聞き取りやアドバイスを随時行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。 (はい2どちらともいえない4 いいえ9 わからない7)	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口担当を作り、意見や要望を聞く体制を作っている。 (はい13どちらともいえない1 いいえ0 わからない8)	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援における受容的姿勢のもと構造化にも配慮している。 ・迎えの際は一言様子を知らせてもらえ、安心している。 (はい21どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	送迎時に必ず一言様子を伝えていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月の予定表を前月の予約確認時に渡し理解を求めている。 (はい12 どちらともいえない3 いいえ1 わからない6)	オープンスクール的な見学会の実施を検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	「個人情報使用の同意書」を求め慎重に行っている。 (はい16どちらともいえない1 いいえ0 わからない5)	十分満足との評価であるが、より慎重に利用者家族等へ配慮していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成している。	・コロナ対策は丁寧に随時連絡があり、安心した。 (はい14どちらともいえない2いいえ1 わからない5)	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回実施している。	・まだ入って日が浅いので避難訓練の日に当たってないだけかもしれない。 (はい5 どちらともいえない0 いいえ1 わからない16)	避難訓練の日時を家族へ通知し、当日の利用者には写真をラインで送付する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	県市等の研修には積極的に参加している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	家族の了解等は書面で確認押印を貰う体制にしている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット綴りにて対応し、それをもとに全職員に伝え事故防止に繋げている。		